

保健福祉企画総務課長 様

担当課長 北区役所 建設課
課長 小野 正勝

岡山市くらしやすい福祉のまちづくり設計支援委員の
意見等について（報告）

下記施設整備事業について、平成25年 5月24日岡山市くらしやすい福祉のまちづくり設計支援委員（以下「委員」という。）に意見を聴いた結果を報告します。

記

<p>事業名 (整備概要)</p>	<p>市道南方柳町線舗装修繕工事</p>	
<p>委員からの意見</p>	<p>委員の意見に対する回答</p>	
<p>○ エスコートゾーンは、施工区域内は全て設置してほしい。</p> <p>○ 自転車通行帯と歩行者通行帯の間を柵で分離して欲しい。自転車と歩行者が混在するのが危ない。</p> <p>○ インターロッキングブロック及び点字ブロックの修繕をするかしないかを見ただけで判断せず、歩いて確認して判断して欲しい。自転車と歩行者の通行場所を色により明確に区別して欲しい。</p> <p>○ 点字ブロックはとおりをまっすぐにしてほしい。また、民地から60cmの場所にこだわる必要はない。</p> <p>○ 点字ブロックから横断歩道のエスコートゾーンへは、まっすぐにしてほしい。</p>	<p>・配慮します。</p> <p>・幅員に余裕がないため、ラインでの分離にならざるを得ない。歩行者・自転車利用者に走行ルールの周知を徹底する施策を実施する。</p> <p>・出来るだけ配慮します。</p> <p>・検討し、出来るだけ配慮します。</p> <p>・出来るだけ配慮します。</p>	

- 歩道の勾配を民地側入り口に合わせ、波うったり勾配がきつくなったりすることなく、フラットにして欲しい。また、出入り口部での傾斜を解消して欲しい。
- 車両の出入り口は危険であるため、カラー舗装などにして注意喚起をしてはどうか。また、同じ素材の場合、色合いや張り方などで工夫して視覚的に訴えたらどうか。

- ・ 検討し、出来るだけ配慮します。

- ・ 張り方や色については検討しますが、素材はすべてインターロッキングとしたい。